

(最終更新日：20242026年 91月 1923日)

「情報公開文書」

医学部 HP 掲載用

受付番号：2025-1-970

課題名：

東北メディカル・メガバンク地域住民コホートデータ並びに三世代コホート調査を利用した日焼けの形質、腎機能及びアレルギー因子関連遺伝子領域の国際共同研究

1. 研究の対象

2013年から開始された東北メディカル・メガバンク機構 (ToMMo) 地域住民コホート調査並びに三世代コホート調査に参加頂いた方々の情報が対象になります。また、2012年に開始された台湾バイオバンクにおいて、20～70歳のがんの診断を受けていない個人を対象に、台湾全土の30か所以上のリクルートサイトから参加いただいた、20万人の方々の情報が対象となります。

2. 研究期間

(1) 研究期間:2020年8月(倫理委員会承認後)～2028年12月

3. 研究目的

本研究では、東北メディカル・メガバンク機構 (ToMMo) 地域住民コホート調査並びに三世代コホート調査で収集された約15万人分のうちSNP array並びに全ゲノム情報と皮膚スキントイプ(日焼けのしやすさ)、アレルギー関連因子情報{総IgE量、特異的IgE量、アトピーアレルギー疾患(アトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎など)の疾患の有無}、腎機能に関わる採血(クレアチニン、シスタチン、BUN)の情報が利用可能な対象に対して、日焼けの仕方と、アレルギー因子に関するゲノム関連解析(GWAS)、および腎機能に関するGWASゲノムワイド並びにHLAMHC等の領域における関連解析を行い、日焼けの仕方、腎機能アレルギー感作並びにアレルギー感作および腎機能に影響しうるゲノム領域を同定することを目的とします。また、得られた個人情報を含まない統計量を台北医科大学に提供し、台湾バイオバンクのデータにてメタ解析を行うことで感受性領域の検出力と正確性の向上を目指します。必要時には、台北医科大学から台湾バイオバンクで解析された個人情報を含まない統計量を提供してもらい東北大学内で情報を統合した解析を行います。

4. 研究方法

ToMMo のコホート調査で収集された参加者アンケートデータ(アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、花粉症並びに気管支喘息などの罹患の有無および日焼けの仕方)、総 IgE 値と特異的 IgE 値と一塩基多型(SNPs)の相関をゲノムワイド関連解析により検討し、アレルギー体質や日焼けのしやすさなどの皮膚機能影響をあたえる遺伝子領域の同定を試みます。既に SNP array 解析が終了している東北メディカル・メガバンク機構(ToMMo)地域住民コホート調査並びに三世代コホート調査で収集された情報を使用して、研究を行います。さらに、すでに解析が終了している全ゲノム解析情報を用いて追加で関連解析を行います。本研究に関連して参加者に追加で連絡をとるなど追加調査を行うことはありません。これまでに地域住民コホート調査並びに三世代コホート調査に参加頂いた方々から既に収集した情報を利用して研究を行います。また、得られた個人情報を含まない統計量を台北医科大学に提供し、台湾バイオバンクのデータを用いて統合解析を行います。情報が増えることにより疾患と関連が深い遺伝子領域を検出することとその研究の正確性の向上を行います。さらに、研究において情報を増やす必要がある時には、台北医科大学に連絡し台湾バイオバンクで解析された個人情報を含まない統計量を提供してもらいます。それらを用いて東北大学内で統合解析を行います。その他、コホート参加者の方々からの遺伝子型情報を用いることで公共ゲノムデータについてもより高精度な遺伝子型情報の取得が可能です。取得された遺伝子型情報を用いることで関連解析結果をもとにした比較解析などについて公共ゲノムデータを含めた集団でも行います。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

被験者アンケート情報：年齢、性別、体重、身長、アレルギー性結膜炎、アトピー性皮膚炎、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、食物アレルギー、過敏性腸症候群、日焼けのスキンタイプ、花粉症並びに気管支喘息等の罹患の有無、日焼けの仕方などのアンケート回答結果情報。

採血情報：総 IgE 値、特異的 IgE 値、血算・血液像・血球分画、コレステロール、中性脂肪、HDL、LDH、クレアチニン、シスタチン、BUN など。

その他の情報：出生月、被害状況、現在の住まい、喫煙歴、ストレスの有無、薬・サプリメント・健康食品の摂取歴、家族構成および健康状態について、ペットの有無について、既往歴、家族歴食物アレルギー、アレルギー性結膜炎、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、気管支喘息、過敏性腸症候群のご家族の罹患情報などのアンケート回答結果情報。

ゲノム情報：シークエンスデータ、SNP array データ、およびそれらデータの解析から得られた遺伝子型情報など。

6. 外部への試料・情報の提供

得られた個人情報を含まない統計量を台北医科大学に提供し、台湾バイオバンクのデータを用いて統合解析を行うことが想定されます。一方で、東北大学が行う研究において情報量を増やす必要がある時には、台北医科大学に協力してもらい台湾バイオバンクで解析された個人情報を含まない統計量を提供してもらいます。それらを用いて東北大学内で統合解析を行います。

7. 研究組織

東北大学 浅野善英

Taipei Medical University Wei-Chiao Chang

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについてコホート調査参加者もしくはコホート調査参加者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でもコホート調査参加者の皆さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

東北大学大学院医学系研究科（神経・感覚器病態学）皮膚科学分野
志藤 光介
〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1
TEL 022-717-7271 FAX 022-717-7361

研究責任者：

氏名 浅野 善英

所属 東北大学大学院医学系研究科（神経・感覚器病態学）皮膚科学分野

研究代表者：

氏名 浅野 善英

所属 東北大学大学院医学系研究科（神経・感覚器病態学）皮膚科学分野

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研

- 究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合

- 3) ToMMo の情報に関する保有個人情報についての相談窓口は、ToMMo 研究協力課 (tommo-ken@grp.tohoku.ac.jp) となります。